

# モーターサイレン 遠隔制御システム

HANKOKU ELECTRIC CO.,LTD.

地震・津波

火災

浸水害

台風・落雷

ゲリラ豪雨

土砂災害



鳴ってこそ危険回避  
聞こえてこそ警報  
できて当然遠隔制御

災害発生時等、迅速に危機を周知し、住民の生命・財産を守る為には、警報機器の整備は必須であるといえます。

ただ、せっかく整備した警報機器も「鳴らない、聞こえない、手間がかかる」では本来の機能を十分に果たしているとは言えません。

そこで、弊社では、耐久性が高く警報音の伝達に優れているモーターサイレンを、遠隔地より簡単に操作・制御・監視可能なシステムを紹介します。

## 1. NTT 専用回線による遠隔制御

NTT 専用回線帯域品目 3.4KHz を用いての高い信頼性による、制御システム

## 2. 携帯電話メール機能による遠隔制御

携帯電話 (docomo) のメール機能を利用した、安価な制御システム

## 3. IP 回線による遠隔制御

既設ネットワーク等に取り入れ可能な、IP 制御による遠隔システム



HANKOKU SIREN

阪国電機株式会社

※裏面をご参照下さい。

■ 遠隔制御システムの条件

まず始めに、サイレン遠隔制御システムの構築にあたって、弊社では

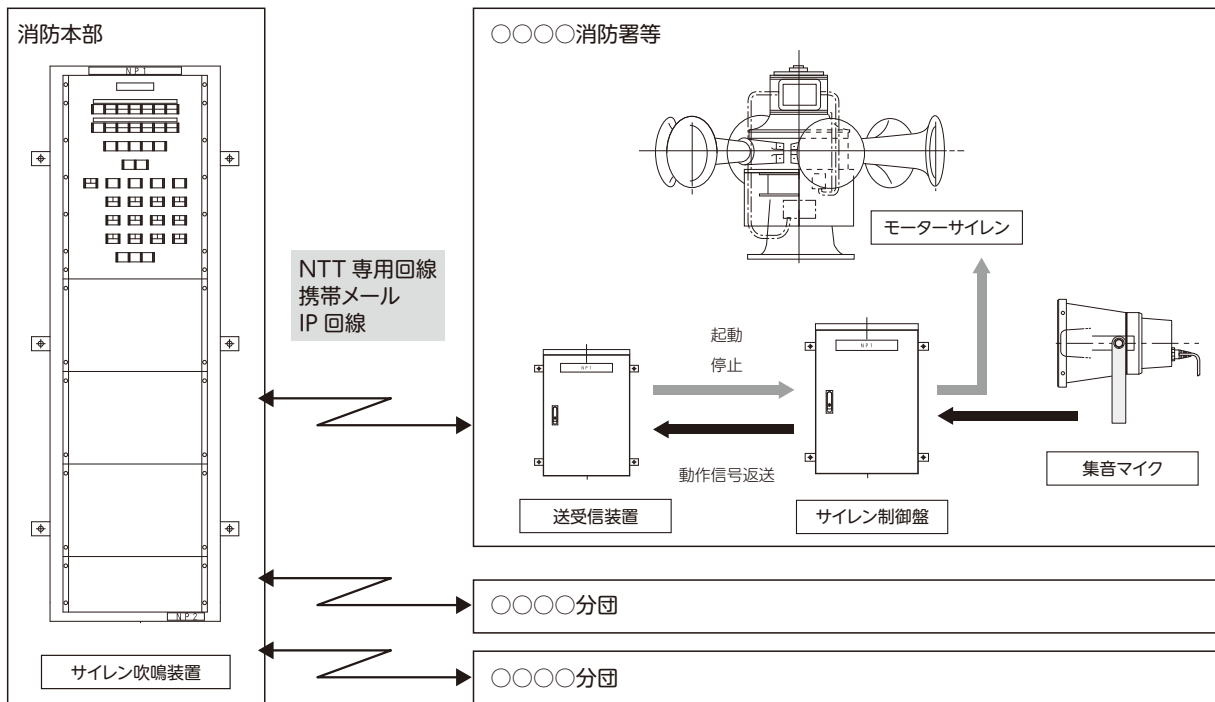
- ① 費用の圧縮（整備費用及び運用費用を圧縮）
- ② 整備期間の短縮（短期間にて整備可能）
- ③ 操作性の向上（簡単に操作でき迅速な発報）
- ④ 信頼性（確実にモーターサイレンを鳴らせる）

この4点を重点的に検討すべき課題と考えております。下記にて各システムを比較致します。

	費用の圧縮	整備期間の短縮	操作性の向上	信頼性
NTT専用回線	△ 運用費用が高い	○ NTTへの申し込みによる開通	◎ 常時接続による機器監視が可能	◎ NTTによる24H保守
携帯電話メール機能	◎ 運用費用が安い	◎ 携帯の電波が届けばOK (*docomoに限る。)	△ メール送受信に時間がかかる	△ 携帯電話会社に依存
IP回線	○ 既設ネットワーク利用で運用費用が安い	△ 既設ネットワークへの乗り入れによる設定変更等	○ ネットワークに依存。イーサネットでの運用は◎	○ ネットワークに依存。イーサネットでの運用は◎

ユーザー様によって、重視する項目に違いがあると思います。使い方に一番適したシステムをご採用ください。

■ システム構成（概要）



阪国電機株式会社

□ 本社

〒662-0978 兵庫県西宮市産所町14-11  
 TEL:0798-22-1625 FAX:0798-34-0949  
 Email:hankoku5@hankoku.co.jp

□ 東日本営業所

〒144-0052 東京都大田区蒲田3-4-2  
 TEL:03-5480-2877 FAX:03-5480-2878  
 E-mail:tokyo@hankoku.co.jp

□ 西日本営業所

〒739-2117 広島県東広島市高屋台1-11-29  
 TEL:082-434-6261 FAX:082-434-6266  
 Email:info@hankoku.co.jp